

教育推進部教育指導課

令和7年度 文京区教育研究奨励費受給者の決定について

1 丹羽教育研究奨励費（個人研究奨励）

〔受給者〕 文京区立金富小学校 山崎 哲平 主幹教諭

〔研究主題〕 生活科におけるめあてに即した振り返りが児童の自覚的な学びに与える
影響の検討

2 石黒教育研究奨励費（グループ研究奨励）

〔受給者〕 文京区立第八中学校 下田 久美子 主幹教諭・他6名

〔研究主題〕 自己調整力を高める一斉授業の在り方

文京区教育研究奨励事業（石黒賞・丹羽賞）について

令和8年2月

＜石黒教育研究奨励賞・丹羽教育研究奨励賞の由来＞

- 前身となる教育研究奨励賞は昭和37(1962)年より実施していた。
- 平成10年、元文京区立真砂小学校第10代校長 故石黒 ミナ 氏の遺志により、遺産管理人「石黒ミナ記念会」代表土屋公献氏より文京区のエ育振興のための基金の寄付を受け、平成11年度から優れた研究成果をあげたグループに対して「石黒教育研究奨励賞」として授与することとなった。
(研究奨励費1グループ10万円〔平成16年度より〕)
- 丹羽教育研究奨励賞は昭和46(1971)年より実施している。
文京区教育委員会第6代教育委員長 丹羽 博 氏の遺志により、遺族より文京区のエ育振興のための基金の寄付を受けたことに基づき、文京区教育研究奨励事業として、優れた研究成果をあげた個人に対して「丹羽教育研究奨励賞」を授与することとした。(研究奨励費1人5万円〔平成16年度より〕)
- 本研究事業は、自主的な研究グループや個人の育成をねらいとし、授業研究に基づいた実践的な研究を指導主事の指導・助言のもとに行うことにより、「文の京」総合戦略、基本政策1「子どもたちに輝く未来をつなぐ」及び文京区教育ビジョン「個が輝き共に生きる文京のエ育」の具現化を図っている。研究成果は「研究の歩み」として各学校に周知する。